

札幌社保協 FAXニュース

2012年12月3日(月)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
12/27(木)です

増税と社会保障改悪はSTOP!

選挙で国民の審判を!



民自公は選挙で対決ポーズ、増税・社会保障改悪は協力
11/30に民自公3党の談合で強行された「社会保障制度改革推進法」に基づく、「社会保障制度改革国民会議」の初会合がありました。政府が任命した15人の委員で2013年8/21の期限までに、社会保障改悪の方針を決めようというものです。

●最大の狙いが社会保障への公費支出の抑制であり、そのために医療・介護をはじめとした給付（サービス）の削減を重点にしています。国や自治体の責任を放棄し、自助・

共助を強調して、「国は金を出さないで、自分や家族・地域の協力で何とかしなさい」と言うものです。

●「後期高齢者医療制度の廃止」「最低保障年金制度」は国民会議の課題ですが、どちらも自民・公明が反対しているもので、決まるはずはありません。

●社会保障の維持や子ども分野への財源は全て消費税としており、いっそうの国民負担を押し付けるものです。

国民の声は増税反対！社会保障の充実！です。選挙で民主党政権・談合の自民・公明に厳しい審判を！

一番の楽しみはヘルパーさんと会話すること 介護学習会「新聞記者が語る介護保険のいま」

11/23しんぶん赤旗の内藤真己子記者を講師に、介護の学習会「新聞記者が語る介護保険のいま」を開催し、介護従事者や市民73人が参加しました。

内藤さんは全国で取材してきたヘルパーさんの時間短縮問題の実態、また彼女が遠距離でご両親の介護にあたってきた実例を詳しく紹介。ヘルパーさんに同行しての慌ただしい介護の実態は、利用者も介護労働者も大変になっていることがよく分かりました。

内藤さんのお父さんの聞き取りでは「（ヘルパーさんは）合意の上で好きなものを作ってくれる。お弁当ではこうはいかん。楽しみはヘルパーさんと会話すること。ヘルパーさんはひとり暮らしのよき伴侶。優しくされるとホッとします」と話しています。介護の生活援助の大切さがにじみ出ています。

参加者から「生活支援時間短縮についての詳細と現状がよく分かり、困っている利用者がたくさんいると知りました。私たちが何を行政に訴えて行くべきかがわかったような気がします」などの感想文が寄せられました。

講演後に介護従事者との懇談があり、そこでも「時間が短くなったので調理は2食分を食べられるものを作る」「ヘルパーはやりがい奪われ、賃金も下がり疲弊感が強い」「ヘルパーのなり手がいない」など深刻な実態が出されていました。



深刻な内容でしたが、リアルにユーモアも交えて楽しく学べた学習会でした。

「孤立死」を考える南区シンポジウム

12月9日(日) 14時～

南区民センター・区民ホール

(南区真駒内幸町2丁目)

参加費無料

みんなの手で南区に特別養護老人ホームをつくる会 電話572-6611